

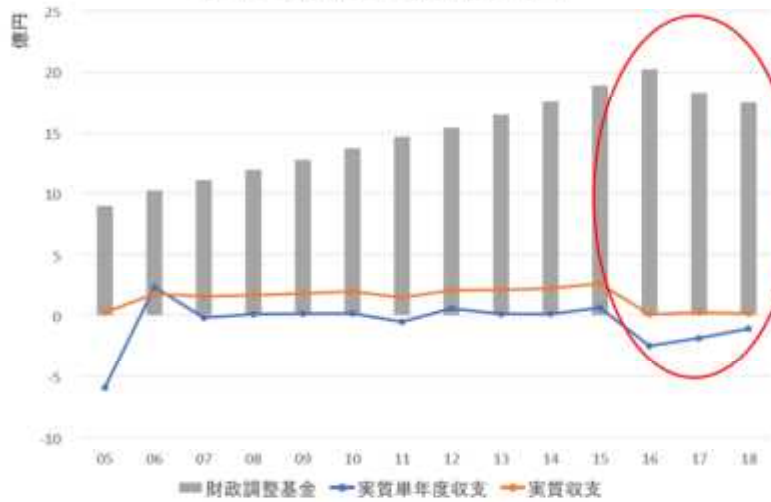
第3次与謝野町行政改革大綱資料編②

～令和元年度 京都府立大学地域貢献型特別研究による財政分析～

「与謝野町財政の持続可能性を診断する」

共同研究者：京都府立大学公共政策学部 川勝健志 教授

毎年の現金収支は健全か？

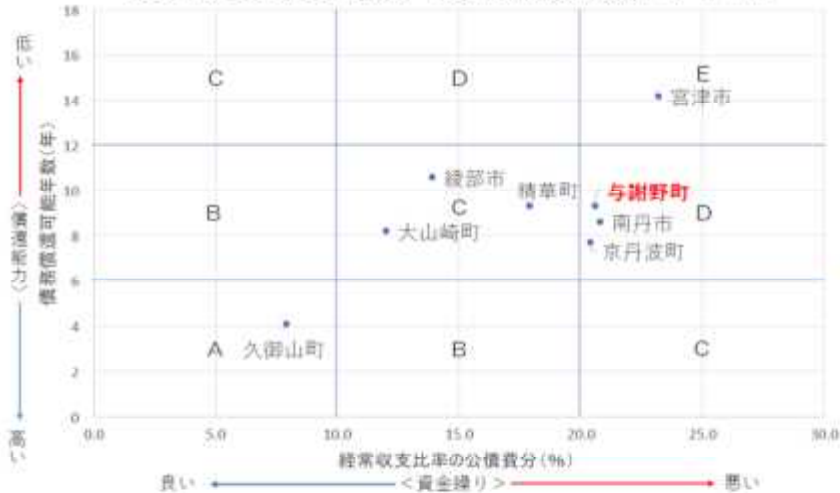


(出所) 与謝野町『決算カード』各年度版より作成。

- 実質単年度収支は合併後、ほぼ均衡して横ばい
 - 合併特例に伴う交付金の増加で財調は16年度まで順調に増加
 - 合併算定替の段階的縮小期 (FY16-) の実質収支の黒字は「悪い」黒字→実質収支、財調ともに減少傾向にあり、実質単年度収支が赤字に転落
- ↓
- 実質収支の黒字を維持し、財調の減少に歯止めをかける必要がある

6

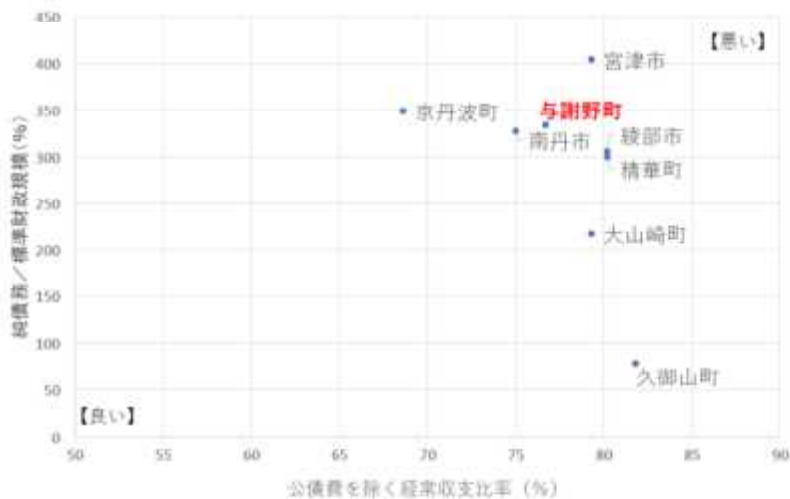
資金繰りと償還能力でみた財政状況 (FY17)



(出所) 各市町『地方財政状況調査』及び『財政状況資料集』平成29年度版より作成。

7

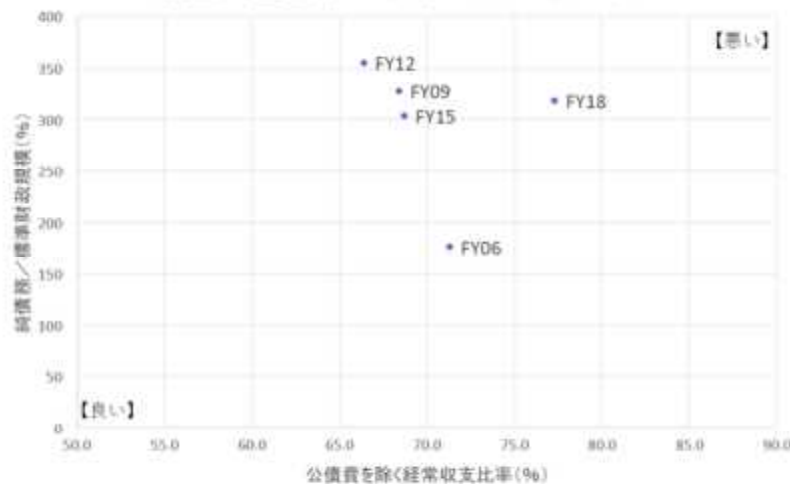
借金は返済可能な重さか？（FY17）



- 純債務は類似団体より大きく、償還財源にやや乏しい

（出所）各自治体『決算カード』及び『財政状況資料集』平成29年度版より作成。

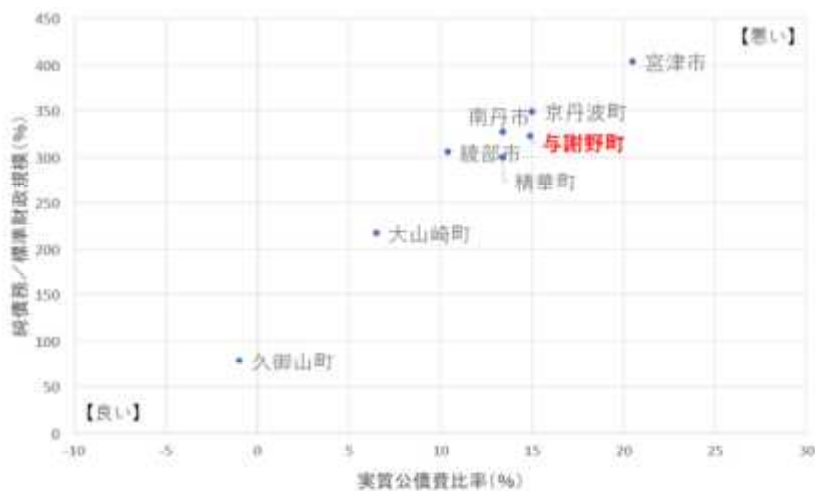
借金の重さ、これまでとこれから



- 純債務はピーク時より減少しているが、依然として重く、再び増加に転じている
- 増加傾向にあった償還財源が再び乏しくなってきた

（出所）与謝野町『決算カード』及び『財政状況資料集』各年度版より作成。

借金返済の今とこれから (FY17)

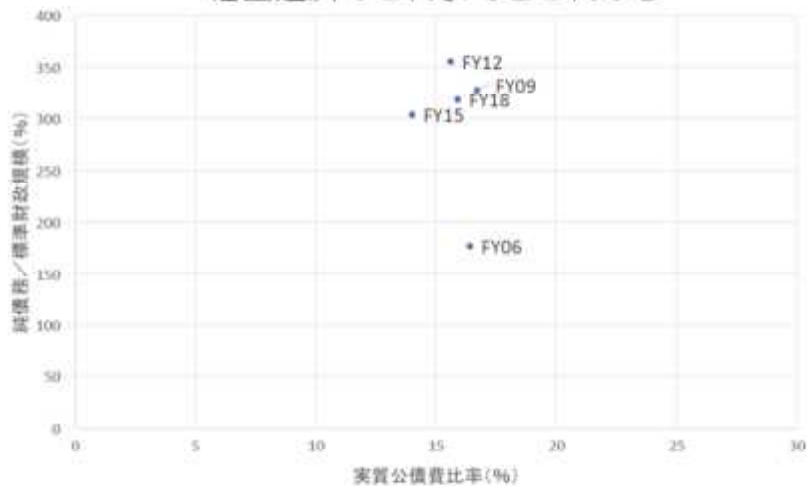


- 現在、借金返済の負担は警戒ラインにあり、将来の負担も小さくない

(出所) 各市町『決算カード』及び『財政状況資料集』平成29年度版より作成。

10

借金返済のこれまでとこれから

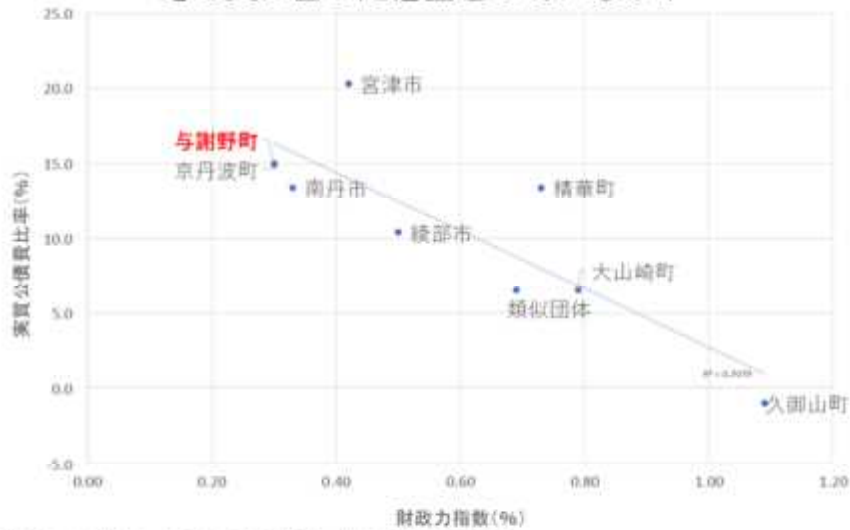


- 毎年の借金返済の状況は、ピーク時より改善傾向にあったが、再び悪化に転じつつある
- ピーク時より借金返済の将来負担は減少傾向にあったが、再び増加に転じつつある

(出所) 与謝野町『決算カード』及び『財政状況資料集』各年度版より作成。

11

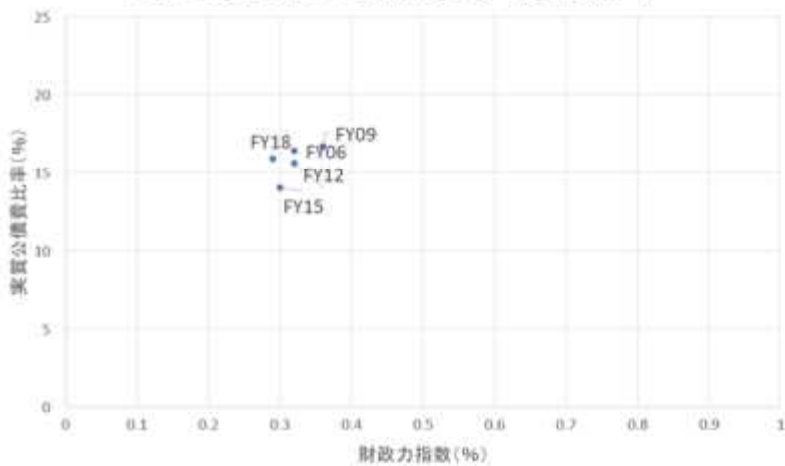
身の丈に合った借金をしているか？



- 財政力指数と実質公債費比率に相関は見られない
- 体力以上の起債をしている

(出所) 各自治体『決算カード』及び『類似団体比較カード』平成29年度版より作成。

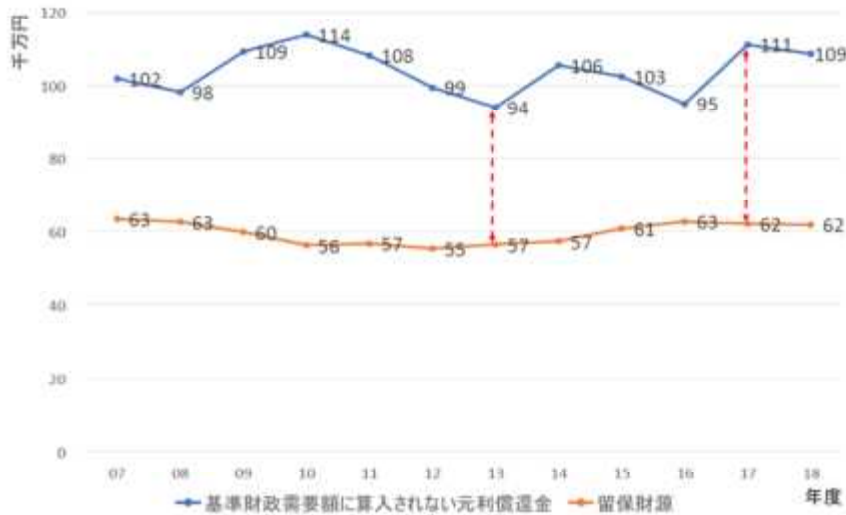
身の丈に合った借金をしてきたか？



- 財政力指数が微減傾向にある中、減少傾向にあった実質公債費比率が再び増加に転じている
- 減少傾向にあった体力以上の起債が再び増加しつつある

(出所) 与謝野町『決算カード』各年度版より作成。

財政措置されない公債費と留保財源



(出所) 与野野町『交付税算定台帳』及び『財政状況資料集』各年度版より作成。

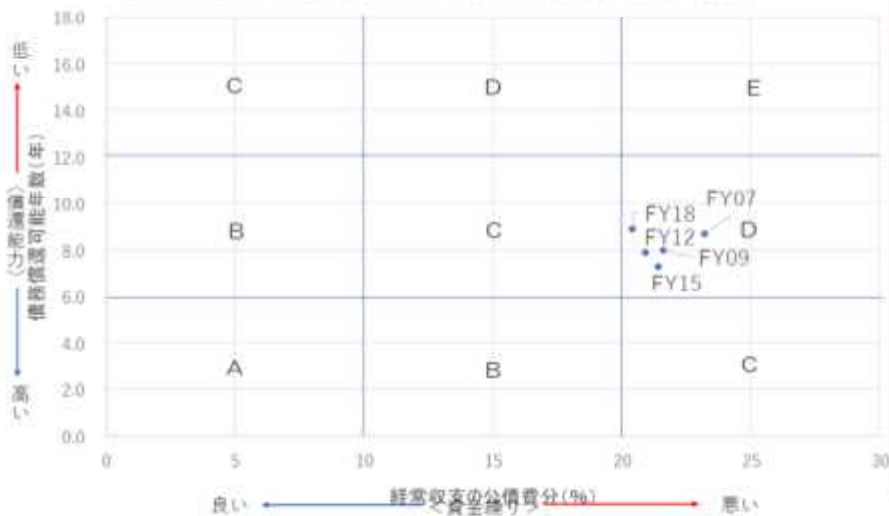
- 標準財政需要額に算入されない元利償還金より留保財源の方が小さい
- 13年度には両者の乖離が小さくなったが、その後再び大きくなり、むしろ拡大傾向にある



- 償還財源を確保するには、標準財政需要額の中で標準的なサービスの提供に必要な財源を削減しなければならない

14

資金繰りと償還能力でみた財政状況の推移

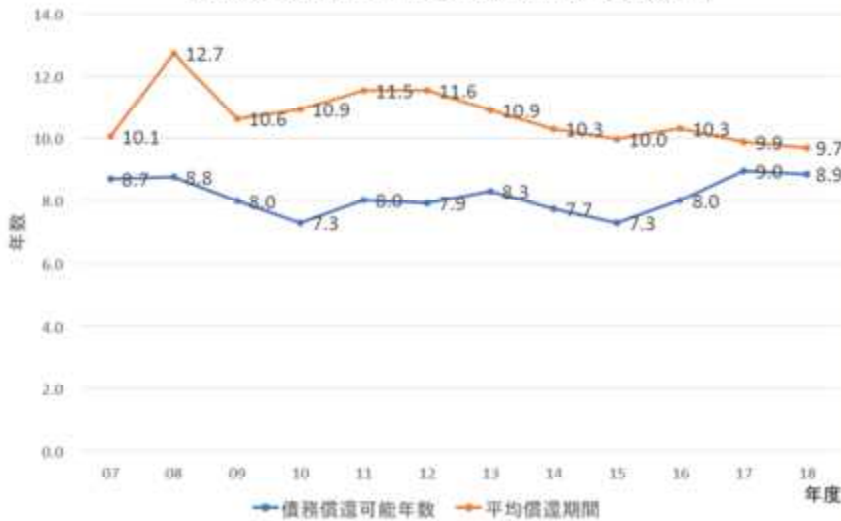


(出所) 与野野町『地方財政状況調査』及び『財政状況資料集』各年度版より作成。

- 合併特例のあった10年を経てもなお、財政状況はDランクから脱することができていない
- やや改善傾向にあった償還能力についても、合併から10年を経た16年度以降は再び悪化しつつある

15

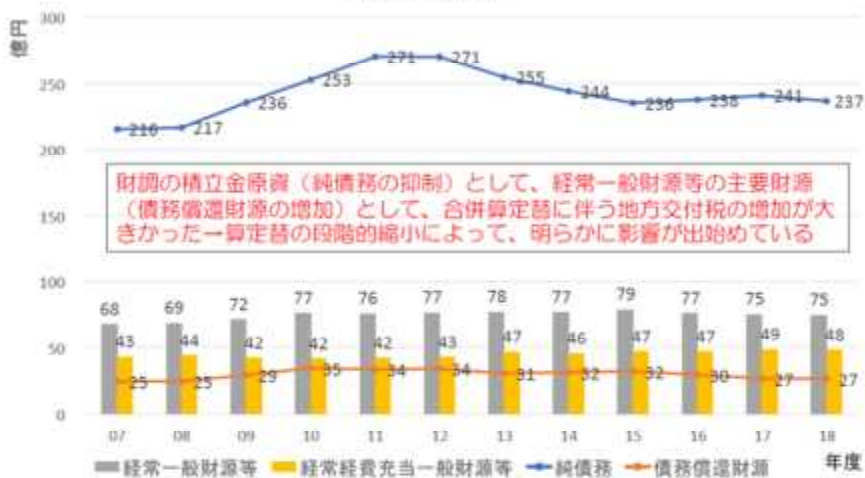
借金返済にどれくらいかかるのか？



(出所) 与野野町『地方財政状況調査』及び『財政状況資料集』各年度版より作成。

- 改善傾向にあった中長期の財政状況が16年度以降に悪化
- 目安は債務償還可能年数と平均償還期間一少なくとも資金ショートは回避できる
- 現状は今後全く投資をせず、返済のみ行えば、財政の破綻可能性は確保できるというギリギリの状態
- 債務償還可能年数 > 公共施設等の償却期間 → 世代間の不公平
- 歳出削減 (or 増税) をせずに投資財源を捻出することは難しい

借金返済にかかる年数が長くなりつつあるのはなぜか？



財調の積立金原資(純債務の抑制)として、經常一般財源等の主要財源(債務償還財源の増加)として、合併算定替に伴う地方交付税の増加が大きかった一算定替の段階的縮小によって、明らかに影響が出始めている

純債務：減少傾向にあったが、合併から10年後に再び増加

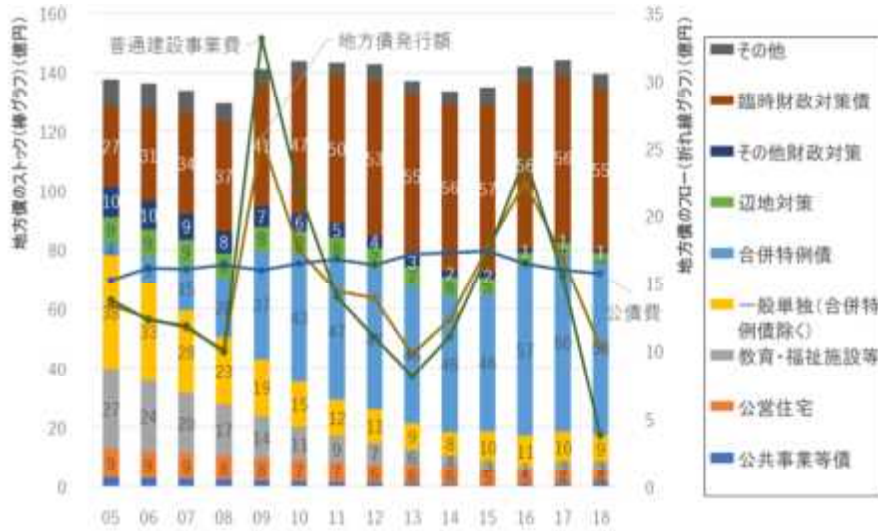
- 起債に伴う地方債残高がやや増加
- 一組等への負担金の増加
- 財源不足による基金の取り崩し

債務償還財源：合併から5年後の11年度に早くも減少

- 經常経費の増加
- 經常一般財源等も増加していたが...

(出所) 与野野町『地方財政状況調査』及び『財政状況資料集』各年度版より作成。

なぜ純債務は再び増加しているのか？



- 09年度をピークに減少傾向にあった起債額(合併特例債、臨時債)が14～16年度に増加
- 減少傾向にあった地方債残高(合併特例債)が15年度から再び増加
- 地方債残高に占める合併特例債や臨時債の割合が増加→将来リスクの可能性(※後述)

(出所) 寿野野町『地方財政状況調査』各年度版より作成。

なぜ経常経費が増えているのか？

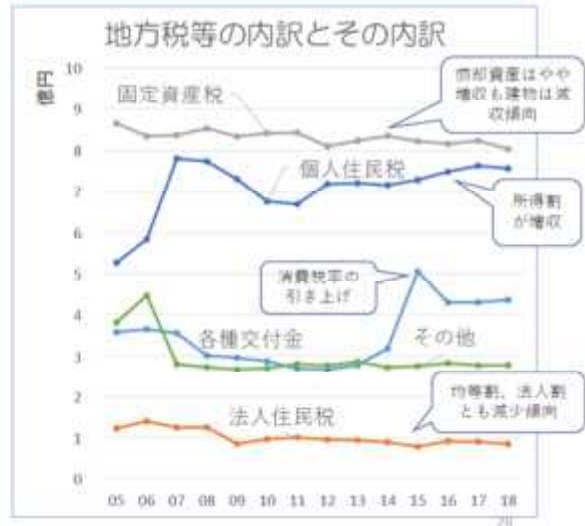
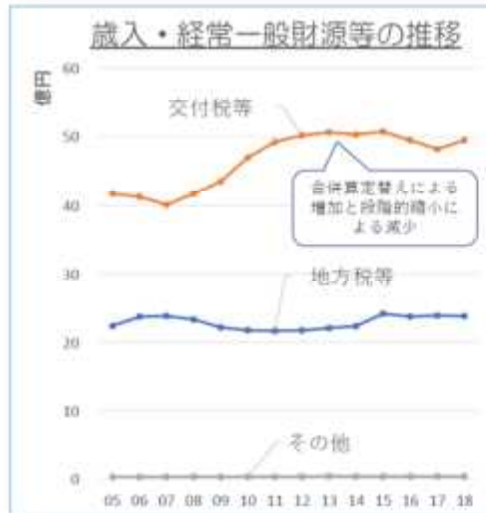
経常収支比率	類似団体との比較		合併時計画との比較	
	寿野野町	類似団体	京丹波町	性質別経費
人件費	19.4	22.4	23.9	人件費
扶助費	8.2	8.1	4.7	扶助費
公債費	20.6	13.4	20.4	公債費
物件費	15.0	16.2	10.1	物件費
維持補修費	0.3	1.3	0.1	補助費等
補助費等	12.3	13.4	15.4	繰出金
繰出金	21.5	13.1	7.1	積立金
				投資的経費
				その他
				合計



- 類似団体及び合併時計画に比べて、繰出金や公債費、扶助費が高い
- 全体的にコスト増の傾向にあり、特に繰出金の増加が著しい
- 大型事業後の借入金返済(公債費)とその後の施設管理費(委託費)が、今後増加することが見込まれる

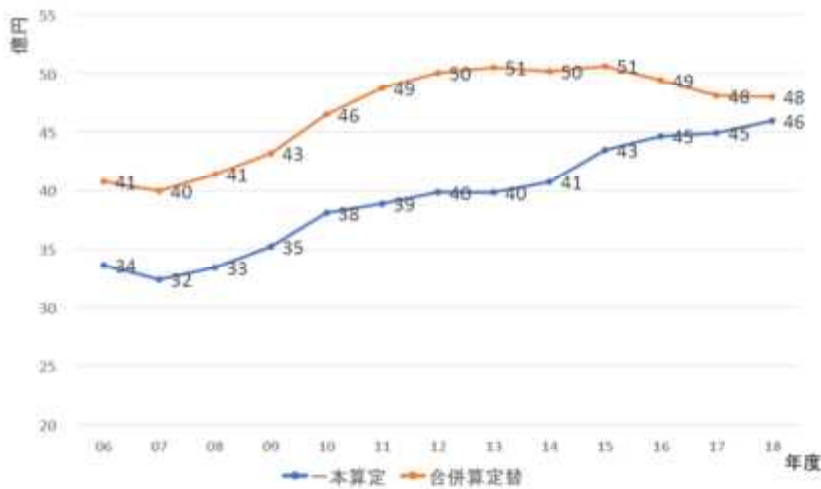
(出所) 寿野野町『地方財政状況調査』各年度版及び『類似団体比較カード』平成29年度版より作成。

なぜ経常一般財源等が増加していたのか？



(出所) 与野野町『地方財政状況調査』各年度版より作成。

交付税算定替特例の状況

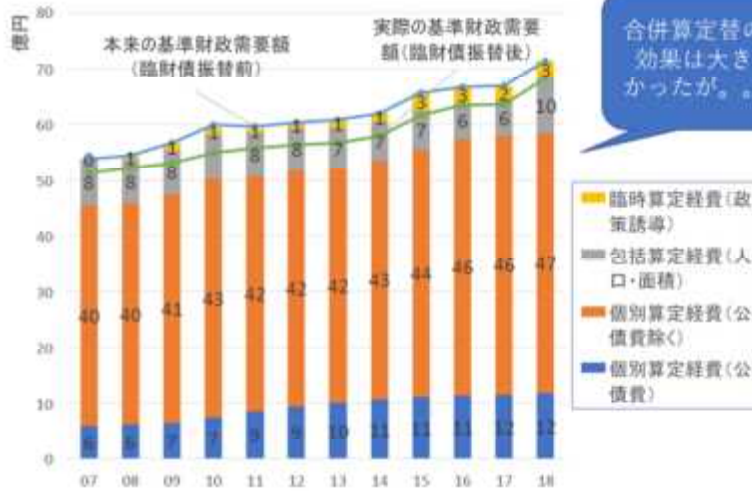


(出所) 与野野町『交付税算定台帳』各年度版より作成。

- 一本算定と合併算定替の差額は、13年度には最大で10億円以上に達した
- 合併算定替の段階的縮小で両者の隔たりは小さくなっており、交付税は今後さらに2億円の減少が見込まれる

21

合併算定替の終了と交付税のこれから



(出所) 与謝野町『交付税算定台帳』各年度版より作成。

- 特今が、この後、このままのペースで推移する
 - 国の一部が、このままのペースで推移する
 - 国の一部が、このままのペースで推移する
 - 国の一部が、このままのペースで推移する
- 財政再建の進め方
- 借金で賄う
 - 借金を減らす
 - 収入を増やす
 - 支出を減らす

今後の課題：「いつまでに」「どこを」「どのように」目指すのか？



(出所) 各市町『地方財政状況調査』及び『財政状況資料集』平成29年度版より作成。

- 財政再建の進め方
- 借金を減らす
- 収入を増やす
- 支出を減らす